

AIホワイトペーパー2025

ホワイトペーパー2023

- ・「日本のAIビックバン」
- ・新たなAI国家戦略の策定



ホワイトペーパー2024

- ・「世界一AIフレンドリーな国へ」
- ・誰も予測できない「ステージⅡ」：競争力強化と安全性確保の両輪の戦略



AIに関する日本初の包括的な法案を国会に提出

ホワイトペーパー2025 “競争力強化戦略の「進化」と「深化」”

■ 最近の動向

● 非連続な変化

- ・小規模でも高性能な汎用AIが登場。
- ・政権交代した米国でのAI政策の抜本的見直し。各国では、イノベーション促進や、安全保障、AIを活用する機会の拡大をより重視する傾向へ。

● 進化を続けるAI

- ・大規模汎用AIの高性能化（マルチモーダル化、高速化等）が継続。
- ・国内のデータセンター建設に加え、大規模な国際協力も進展。
- ・ユーザーに代わって判断・行動を行うエージェントAIが登場。

- ・労働生産性が長年伸び悩む中、AIを中核としたデジタルの力が反転攻勢の鍵。
- ・環境激変が続く中、競争力強化戦略も柔軟に見直す必要があり、データ活用やリアル領域への展開を中心に、戦略の進化と深化が必要。

■ 研究開発と利活用の一体的推進「AIによる生産性の刷新」

● データ：データの質がAI競争力の鍵

- ・未利用データの提供・活用。
- ・高品質な学習用データの整備・活用。
- ・研究データ基盤の構築・AI for Scienceの推進。
- ・機微情報、個人情報等を含むデータのAI学習に関して合理的な処理方法を検討。

● インフラ

- ・次世代の情報通信基盤（オール光ネットワーク等）の研究開発、検証環境の整備。
- ・デジタルインフラ（データセンター、海底ケーブル等）の充実・適地分散。
- ・フット・ビット連携（電力・通信インフラの整備）。
- ・ポスト「富岳」の2030年からの稼働。

● 人材

- ・学生や若手AI研究者の育成強化等。
- ・多様なAIエンジニアや高度な人材の育成・確保。
- ・データマネジメント人材の育成。

● 国際連携・国際戦略

- ・サイバーセキュリティを含むAIセーフティに関して海外AISIと連携。最新技術の情報収集・分析力の強化。
- ・GPAI、広島AIプロセスを引き続き推進し、国際的なルールメイキングを主導。

● ロボティクス×AI：新たな領域でも強み

- ・ロボット分野のデータを収集し、AI開発を促進。
- ・ソフトウェアやハードウェアを柔軟に組み合わせるロボット開発基盤の構築。
- ・ロボットの基盤モデル開発に必要なGPUクラスターを使った学習環境等の構築

● ガバメントAI（デジタル庁2.0）

- ・国と地方のAI活用環境を一元化するガバメントAIの構築。
- ・Chief AI Officerの設置。

● 信頼性が高いAI

- ・省人力化、生産性向上等に資するAIの導入促進。
- ・日本の文化・習慣・歴史等を学習したAIの開発・評価の推進。
- ・AI活用による事故等の責任の所在について検討。